

あなたは文章を校正する係です。以下の文章を校正してください。

#条件

- ・誤字脱字、句読点、タイプミス、表記の揺れ、文脈に合わない語句、助詞(てにをは)の使い方、文末表現の統一、同食べ物ランキング」音異義語、主語述語の組み合わせの不備、慣用句の使い方等を終始して、修正箇所はすべて指摘してください。
- ・修正点は、太字にしてください。

#入力文

去年は、行くことができなかった、見学旅行に今年は、行けることになりました。日頃より、保護者の方や子どもたちがウイルス対策や、健康管理をきちんとしていただいたおかげです。アルコール消毒や手洗い、マスクの着用など気を遣いながらではありますが、久々の見学旅行を楽しんで、学びにかえてきたいと思います。興奮して眠れないかもしれませんが、前日の早めの就寝と当日朝の朝食は必ず取るようにお願いします。当日の検温、健康観察もいつも通りにお願いします。当日の欠席連絡は、7時40分までにお願いします。

あなたは文章を校正する係です。以下の文章を校正してください。

#条件

- ・誤字脱字、句読点、タイプミス、表記の揺れ、文脈に合わない語句、助詞(てにをは)の使い方、文末表現の統一、同食べ物ランキング」音異義語、主語述語の組み合わせの不備、慣用句の使い方等を終始して、修正箇所はすべて指摘してください。
- ・修正点は、太字にしてください。

#入力文

本単元は、高等学校学習指導要領理科編 理数編「物理基礎(1)物体の運動とエネルギー」に位置づく。これによれば、本単元では「理科の見方・考え方を働かせ、日常に起こる物体の運動についての観察、実験などを通して、物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら理解させる」としている。これを踏まえて、本単元では様々な力と力がもたらすはたらきについて、浮力についての実験・観察、運動の法則に関するデータの分析などを通して、知識技能の習得と思考・判断・表現の育成を図っていく。中学校では、第3学年の第1分野「(5)運動とエネルギー」で力の概念やばねに加える力と伸びの関係・力の合成と分解・力のつり合い・慣性の法則や作用反作用の法則など、既習済みのものが多くあり、それを本単元と関連させながら学習していく。

あなたは文章を校正する係です。以下の文章を校正してください。

#条件

- ・誤字脱字、句読点、タイプミス、表記の揺れ、文脈に合わない語句、助詞(てにをは)の使い方、文末表現の統一、同食べ物ランキング」音異義語、主語述語の組み合わせの不備、慣用句の使い方等を終始して、修正箇所はすべて指摘してください。
- ・修正点は、太字にしてください。

#入力文

本クラスは2年生の普通科28名が選択しており、物理に興味・関心がある生徒が多く選択している。しかし、中には「物理」という教科を理解しておらず、何となくという理由で選択した生徒もいる。事前アンケートでは、将来物理を使った受験を考えているという生徒が15名おり、進路に対応できる指導を行っていく必要がある。また、得意教科が「理科」や「数学」の生徒が約64%を占めるため、数学力や計算力・思考力が高いことがうかがえる。

6月に実施した前期中間考査では85点以上の生徒が7名と25%を占めている。一方で、50点以下の生徒も4名おり、学力差の大きいクラスであることがわかる。

授業中の発問に対しては特定の生徒のみが発言することが多い。しかし、周囲と話し合う場面では、積極的に話し合う様子が見て取れる。ただ、複数のクラスからの選択ということもあり、話し合いに参加できない生徒も一定数見受けられる。

演習の場面では、自発的に解答を確認しあったり、教えあったりする様子がみられる。しかし、解くペースに大きな差があり、早く解き終わった生徒が時間を持て余していることが課題である。

あなたは文章を校正する係です。以下の文章を校正してください。

#条件

- ・誤字脱字、句読点、タイプミス、表記の揺れ、文脈に合わない語句、助詞(てにをは)の使い方、文末表現の統一、同食べ物ランキング」音異義語、主語述語の組み合わせの不備、慣用句の使い方等を終始して、修正箇所はすべて指摘してください。
- ・修正点は、太字にしてください。

#入力文

本単元では、さまざまな力について扱う。既習事項が多い単元ではあるが、中学校で苦手意識を持った生徒も少なくない。

物理ではたくさんの公式が登場し、「その公式を暗記しないといけない」「公式だけ覚えておけばいい」というような考え方が物理に対して苦手意識をもつ原因である。物理の公式を単に覚えるのではなく、現象と理論の紐づけを行ったうえで公式を理解し、覚えていくということが大切である。データの解析では、 $x-t$ グラフや $v-t$ グラフを分析することで深く理解させ、公式の導出などを行うことで、物理の本質の理解を促していきたい。

物理と日常生活を結びつけることで、生徒が主体的に学習に取り組めるような発問を行っていく。また、そのような身近な現象で気づいた物理現象や物理法則を発表する機会を設けていく。話し合いに参加できない生徒には声掛けや会話を促すような発問を行っていく。そして、苦手意識を持つ生徒に対しては、教えあえるような環境を整え、協働的な学びにつなげていきたい。

あなたは文章を校正する係です。以下の文章を校正してください。

#条件

- ・誤字脱字、句読点、タイプミス、表記の揺れ、文脈に合わない語句、助詞(てにをは)の使い方、文末表現の統一、同食べ物ランキング」音異義語、主語述語の組み合わせの不備、慣用句の使い方等を終始して、修正箇所はすべて指摘してください。
- ・修正点は、太字にしてください。

#入力文

本時の目標に対して、生徒が何につまずきそうかというみとおしが立っておらず、適切な指導・助言が行われていなかった。

本時の目標を達成するために、生徒に仮説を考えさせて、実験結果を分析・考察することで、その仮説を立証できるような授業計画になっていた。

本時の目標に対して、個人で分析・考察をまず行い、ある程度進んだ段階で、ペア学習に移行することで、考察を深めていくという学習形態となっていた。

今回の授業において、ICTを活用する場面は無かった。ただし、ペア協議をした後に全体共有した方が、より深い学びにつながったと考えられる。そういった場面では、ICTを活用することで時間短縮も可能であっただろう。また、実験内容を動画等にまとめて見せることで、イメージを深めることができたと考えられる。

授業の内容は書かれていたが、思考の過程が分かるような板書にはなっていなかった。

学習規律が少し乱れており、一部の生徒に指示が通っていない場面があり、授業展開に支障をきたしていた。

本時の目標に対して、学習指導案上では振り返る場面をとっていたが、本時においては、授業展開が遅延してしまい、振り返りを行うまでには至らなかった。

本時の目標を達成するために、手立てが必要な生徒に対し適切な助言ができていなかったため、目標達成に至らない生徒がいた。

あなたは文章を校正する係です。以下の文章を校正してください。

#条件

・誤字脱字、句読点、タイプミス、表記の揺れ、文脈に合わない語句、助詞(てにをは)の使い方、文末表現の統一、同食べ物ランキング」音異義語、主語述語の組み合わせの不備、慣用句の使い方等を終始して、修正箇所はすべて指摘してください。

・修正点は、太字にしてください。

#入力文

本年度の主要事業でございます。

「新たな教職員の学び」協働開発推進事業についてご説明します。令和7年度・令和8年度も継続して、独立行政法人教職員支援機構の指定を受けております。一昨年度は採用20年目に当たる発展期以降の研修を充実させるため、新たな研修の内容や形態等についてご意見をいただき、昨年度より当研修を試行実施しました。本年度は昨年度までの取組に加えて、採用20年目研修以外の研修を「探究型」研修へ転換し、令和8年度から試行するために、計画の策定と高知大学教職員大学の協力を得て評価方法の研究を行っています。

あわせて「探究型」研修への転換に向けて指導主事力量形成のために、「指導主事の所内研修会の実施」、「ファシリテーション・プロジェクト・チーム会の継続」、「他県等の優れた研修への視察及び参加」、「研修マネジメント力共同開発プログラム(中国・四国版)」といった学び合うコミュニティの形成を行っています。

また、評価方法については、高知大学教授を講師に迎え、研修評価に関する学習会を実施し、「探究型」の研修評価方法の在り方を検討しています。

遠隔教育推進事業の充実について、ご説明いたします。

学校規模や地域間における教育機会の格差を解消し、生徒が希望する進路を実現するために、遠隔授業配信センターから遠隔授業や遠隔補習を配信しています。本年度は14校に対し39講座、延べ週109時間の遠隔授業を実施いたします。なお、要覧では、15校となっていますが、西土佐分校の書道Ⅰにつきましては、3月の人事異動により対面による授業が実施されることとなりましたので、1校減になっています。

次に、取組2としまして、これまでの遠隔教育推進事業のノウハウを活用して、小規模中学校における免許外指導担当教員に対してオンライン等(メール・電話、学校訪問)による支援を行っています。

令和6年度は「指導力向上支援校」16校を目標に拡充し、免許外教科指導力スキルアップ講座の実施など、県内全域を対象としたフォローアップ支援を行います。なお、要覧では、支援対象教科について、家庭科を予定としておりましたが、家庭科の専門支援員が確保できなかったため、現時点では美術・技術で実施しております。なお、確保することができ次第、支援を行ってまいります。

本年度は、文部科学省の研究指定事業「各学校・課程・学科の垣根を超える高等学校改革推進事業」に採択されましたので、全日制だけでなく、定時制昼間部及び通信制の学校で、また工業・農業の専門高校でも、進学等を希望する生徒が遠隔授業や補習を活用できるよう、研究をすすめてまいります。

以上で業務外用の説明を終わります。

あなたは文章を校正する係です。以下の文章を校正してください。

#条件

・誤字脱字、句読点、タイプミス、表記の揺れ、文脈に合わない語句、助詞(てにをは)の使い方、文末表現の統一、同食べ物ランキング」音異義語、主語述語の組み合わせの不備、慣用句の使い方等を終始して、修正箇所はすべて指摘してください。

・修正点は、太字にしてください。

#入力文

それでは、当教育センターの業務概要をご説明します。

本年度の主要事業でございます。

「新たな教職員の学び」協働開発推進事業についてご説明します。令和7年度・令和8年度も継続して、独立行政法人教職員支援機構の指定を受けています。一昨年度は採用20年目に当たる発展期以降の研修を充実させるため、新たな研修の内容や形態等についてご意見をいただき、昨年度より当研修を試行実施しました。本年度は昨年度までの取組に加えて、採用20年目研修以外の研修を「探究型」研修へ転換し、令和8年度から試行するために、計画の策定と高知大学教職員大学の協力を得て評価方法の研究を行っています。

あわせて「探究型」研修への転換に向けて指導主事の力量形成のために、「指導主事の所内研修会の実施」、「ファシリテーション・プロジェクト・チーム会の継続」、「他県等の優れた研修への視察及び参加」、「研修マネジメント力共同開発プログラム（中国・四国版）」といった学び合うコミュニティの形成をしています。

また、評価方法については、高知大学教授を講師に迎え、研修評価に関する学習会を実施し、「探究型」の研修評価方法の在り方を検討しています。

遠隔教育推進事業の充実について、ご説明します。

中山間地域が多い本県において、学校規模や地理的条件等にとらわれず生徒の教育機会を確保する観点から、単位認定を伴うビデオ会議形式での遠隔教育を推進している。本年度は15校で、のべ35講座、延108時間の遠隔授業を実施しております。

次に、取組の2点目としまして、これまでの遠隔教育推進事業のノウハウを活用して、小規模中学校における免許外指導担当教員に対し、オンライン等（メール・電話、学校訪問）による支援を行っています。

また、文部科学省の研究指定事業「各学校・課程・学科の垣根を超える高等学校改革推進事業」に採択されておりますので、全日制だけでなく、定時制昼間部及び通信制の学校で、また工業・農業の専門高校でも、進学等を希望する生徒が遠隔授業や補習を活用できるよう、研究をすすめております。

以上で業務概要の説明を終わります。